

2024 年度 1 学期

☐問題用紙

☒問題兼解答用紙

☐解答用紙

☐その他()

☐片面印刷

☒両面印刷(上下同)

☐両面印刷(上下逆)

☐綴り

()枚

【解答用紙の種類】

☐別途答案用紙

☐罫線答案用紙

☐マークシート

☐PC 等

1 / 2

科目名

国際金融論

読替名

担当者

前田 淳

試験日

8 月 1 日 月曜 5 時限

※学籍番号や氏名などは、すべての頁のすべての該当箇所に必ず記入すること。記入なき場合には、採点されない場合があります。※解答はすべて各解答欄に記入すること。

設問 01 ポンドとユーロ間の為替レートの昨日の終値が、 $\text{£}1=\text{€}1.2$ で、今日はそれよりも 0.1 ユーロ分のポンド高だとする。今日の終値は、いくらになるか。 $\text{£}1=\text{€}$ []で答えを表記したときの[]に入る適切なものを下の選択肢から選び、記号で解答しなさい。
解答欄⇒[b]
〔選択肢〕
a. 1.1、 b. 1.3、 c. $1.2 \div 1.1$ 、 d. 1.2×1.1

設問 02 あなたは卒業旅行でアメリカに行こうと思い、 $\$1=\text{¥}160$ のレートで 32 万円をドルに換えた。ところが、急病のために旅行をキャンセルしたので、そのドルを全額、円に戻したところ、適用されたレートが $\$1=\text{¥}155$ であった。この結果、あなたはおよそ何%の損をしたか、小数点一位までを解答しなさい(最初に用意した 32 万円に対する損失の比率を計算すること。ただし、小数点二位以下は切り捨て)。ただし、手数料は一切かからないと仮定する。
解答欄⇒[3.1]%

設問 03 円、ドル、ユーロ、ポンドの各為替レートが下の場合、10 ポンドが 6400 円になるためには、 α はいくらになるか。整数で解答しなさい。
解答欄⇒[2]
(為替レート) $\$1=\text{¥}160$ 、 $\text{€}1=\text{\$}2$ 、 $\text{£}1=\text{€}\alpha$

設問 04 一つの国の経常収支と資本移転等収支を合計すると、金融収支に等しくなる(誤差脱漏を除く)。その理由として、最も適切な説明はどれか、選択肢から選び番号で解答しなさい。
解答欄⇒[4]
〔選択肢〕
1. たとえば、ある国にとっての輸出は、相手の国にとっては輸入なので、合計するとプラマイゼロとなるからである。
2. たとえば、ある国にとっての輸出は、その決済にかかわる金融収支において、中央銀行のコルレス勘定では対外資産の増、または、対外負債の減となって記録されるからである。
3. たとえば、輸出は、金融収支の外貨準備で同額が記録されるからである。
4. たとえば、輸出は、金融収支のその他(その他投資)で同額が記録されるからである。

設問 05 船積書類の内容を下の a.以下から選んだ場合、最も適切な組み合わせは何か。アルファベット順に解答しなさい(アルファベット間に、ピリオドやハイフンなどは不要(解答例:hmyz))。
解答欄⇒[ade]
a. 送り状、 b. 為替手形、 c. 信用状、 d. 船荷証券、 e. 保険証券

設問 06 日本の企業 A がアメリカの企業 B から財をドル建てで輸入して、その代金の決済は日本の銀行甲とアメリカの銀行乙の間で行われたとする。その決済の内容はどのようになるか。下の選択肢の中から適切な説明を一つ選び、番号で解答しなさい。
解答欄⇒[5]
〔選択肢〕
1: 乙が甲に持つドル預金の引落し。2: 乙が甲に持つ円預金の引落し。3: 乙が甲に持つドル預金への振込み。4: 乙が甲に持つ円預金への振込み。5: 甲が乙に持つドル預金の引落し。6: 甲が乙に持つ円預金の引落し。7: 甲が乙に持つドル預金への振込み。8: 甲が乙に持つ円預金への振込み。

設問 07 中国の外貨準備(ドルまたはユーロ)が減少するケースは、以下のどれか、番号で答えなさい。ただし、適切な文は一つとは限らないし、一つもないかもしれない。一つもない場合には、「0」と解答すること。
解答欄⇒[0]
〔選択肢〕
1. 人民元の増価を嫌って、通貨当局が人民元の買介入をしたとき。
2. 人民元の減価を嫌って、通貨当局が人民元の売介入をしたとき。
3. 人民元の増価を嫌って、通貨当局がユーロの買介入をしたとき。
4. 人民元の増価を嫌って、通貨当局がドルの売介入をしたとき。
5. 人民元の減価を嫌って、通貨当局がユーロの買介入をしたとき。

設問 08 日本の企業や金融機関が外貨建ての対外資産・負債を持っているときに、円安・円高による収益への影響を表で示すこととする。下の各〔 〕に「益」または「損」を記入する場合、正しい組合せはどれか。選択肢から一つ選び番号で解答しなさい。
解答欄⇒[4]

	円安	円高
外貨建て資産	[a]	[b]
外貨建て負債	[c]	[d]

〔選択肢〕※選択肢では、〔 〕の a、b、c、d の順で左から記載。
1. 益、益、損、損、2. 損、損、益、益、3. 損、益、益、損、4. 益、損、損、益

着席番号

記入不要

学部

学科

学籍番号

氏名

評点

2024 年度 1 学期

☐問題用紙

☒問題兼解答用紙

☐解答用紙

☐その他()

☐片面印刷

☒両面印刷(上下同)

☐両面印刷(上下逆)

☐綴り

()枚

【解答用紙の種類】

☐別途答案用紙

☐罫線答案用紙

☐マークシート

☐PC 等

2 / 2

科目名

国際金融論

読替名

担当者

前田 淳

試験日

8 月 1 日 月曜 5 時限

※学籍番号や氏名などは、すべての頁のすべての該当箇所 に必ず記入すること。記入なき場合には、採点されない場合があります。※解答はすべて各解答欄に記入すること。

設問 09 いま、円とドルの為替レートが 1 ドル＝100 円で均衡して購買力平価と等しくなっている状態から、日本とアメリカの物価指数が下の表のように変化したとき、購買力平価説の考え方に立てば、為替レートはどのように変化するか。正しいものを下の選択肢から一つ選び、記号で解答しなさい。

解答欄⇒[b]

	当初の物価指数	変化後の物価指数
日本	100	150
アメリカ	100	200

- 〔選択肢〕
- a. 1 ドル＝50 円、 b. 1 ドル＝75 円、 c. 1 ドル＝125 円、 d. 1 ドル＝150 円

設問 10 円がドルに対して 1%増価した結果、日本の対米貿易収支が悪化する条件(マーシャル＝ラーナー条件)として、正しいものは以下のどれか。選択肢から一つを選び記号で解答しなさい。ただし、x は日本の対米輸出が減少した%、y は日本の対米輸入が増加した%を表す。

解答欄⇒[e]

- 〔選択肢〕
- a. $x+y=0$ 、 b. $x+y>0$ 、 c. $x+y<0$ 、 d. $x+y=1$ 、 e. $x+y>1$ 、 f. $x+y<1$

設問 11 円高・ドル安が日本経済に与える影響として、あくまで理論的な可能性として考えた場合、適切な文は以下のどれか。選択肢から選び番号で解答しなさい。ただし、適切な文は一つとは限らないし、一つもないかもしれない。一つもない場合には、「0」と解答すること。

解答欄⇒[3、4、5]

- 〔選択肢〕
1. 円高は、日本からアメリカへの海外旅行を増やす要因なので、旅行収支にとっては好材料である。
2. 円高は、日本の GDP をドル建てに換算したときの数値が小さくなるので、世界の GDP に占める日本のシェアは小さくなる。
3. 円高は、天然資源を輸入している日本にとって、輸入コスト減なので、円建ての貿易収支にとっては良い材料となる。
4. ドル建ての資産と負債を同額かつ同満期で持っている場合、円高になっても為替差益・差損はブライゼロとなる。
5. 円高は、日本企業の対外直接投資を増やす要因となりうる。

設問 12 アメリカと中国において、基準時と現在の為替レートと物価が下の表の状態のとき、現在の実質為替レートはいくらになるか、下の選択肢 1～8 から選び番号で解答しなさい。※表中の「物価」とは、すべての財・サービスの値段を平均して代表した数値という意味である。為替レートは、1 ドルあたりの人民元の数値で表されたものとする。

解答欄⇒[8]

	基準時	現在
為替レート	A 元	B 元
中国の物価	C 元	D 元
アメリカの物価	E ドル	F ドル

- 〔選択肢〕
1. $A \times (C/D) \div (E/F)$ 、 2. $A \times (E/F) \div (C/D)$ 、 3. $A \times (D/C) \div (F/E)$ 、 4. $A \times (F/E) \div (D/C)$ 、 5. $B \times (C/D) \div (E/F)$ 、 6. $B \times (E/F) \div (C/F)$ 、 7. $B \times (D/C) \div (F/E)$ 、 8. $B \times (F/E) \div (D/C)$

設問 13 ある日本企業が、ドル建ての資産を 10 万ドル、負債を 11 万ドル持っているとして仮定する(ただし、資産と負債の満期はいずれも 3 ヶ月後とする)。為替リスクと先渡し為替取引について説明した文として、適切な文は以下のどれか。選択肢から選び番号で解答しなさい。ただし、適切な文は一つとは限らないし、一つもないかもしれない。一つもない場合には、「0」と解答すること。

解答欄⇒[4]

- 〔選択肢〕
1. 円高になったとき、資産と負債の差額 1 万ドルに対して為替差損が生じる可能性があるので、3 ヶ月物の先渡しでドル売りの契約をすればリスクを回避できる。
2. 円高になったとき、資産と負債の差額 1 万ドルに対して為替差損が生じる可能性があるので、3 ヶ月物の先渡しでドル買いの契約をすればリスクを回避できる。
3. 円安になったとき、資産と負債の差額 1 万ドルに対して為替差損が生じる可能性があるので、3 ヶ月物の先渡しでドル売りの契約をすればリスクを回避できる。
4. 円安になったとき、資産と負債の差額 1 万ドルに対して為替差損が生じる可能性があるので、3 ヶ月物の先渡しでドル買いの契約をすればリスクを回避できる。
5. 円高になったとき、資産の 10 万ドルに対して為替差損が生じる可能性があるので、3 ヶ月物の先渡しでドル買いの契約をすればリスクを回避できる。
6. 円安になったとき、負債の 11 万ドルに対して為替差損が生じる可能性があるので、3 ヶ月物の先渡しでドル売りの契約をすればリスクを回避できる。

着席番号	記入不要	学部学科	学籍番号	氏名	評点
------	------	------	------	----	----